Japan Society of Obstetrics and Gynecology

病理解剖から見た女性内性器結核の頻度

Pathologisch-Anatomische Untersuchungen über die Häufigkeit der Tuberkulose der Weiblichen Genitalorgane

日本大學醫學部産婦人科教室(主任　橋爪一男教授)
助教授　馬　島　季　麿　Suemaro Majima

まえがき

女性内性器結核に關する研究は，Morgagni (1776)，Schiltz(1840)に始り，Schlimpert (1911)及び Krönig (1911)以來益々旺んとなり，わが國に於ても，水(1926)，倉島(1931)を始め幾多の研究があり，私もまた1951年に女性内性器結核の病理組織學的研究を發表した．篠田教授は古くから本症の臨床的研究を行い，腟内容物及び月經血からの結核菌分離培養に成功し(1941)，また子宮卵管レ線像による診斷が可能なことを發表した(1943)．その詳細は同教授著「結核と婦人性器」に盡してあるが，本症の臨床的診斷はこの研究によつて劃期的な進歩を遂げた．私は本書を讀んで多大の感銘を受けたのであるが，本書によればわが國に於ては，病理解剖から見た本症の發見頻度に關する報告者は大野，倉島及び阿保の3人にすぎないことを知つて，この種の報告のあまりにも少いのに一驚を喫したのである．

私はかつて女性内性器結核の病理解剖學的研究を行つた際に，同時にその頻度をも詳細に調査したのであるが，これは未發表のまゝになつて今日に至つた．しかしわが國に於ては本症の頻度に關する報告があまりにも少いのを知つたので，今日こゝに發表して，わが國に於ける文獻に追加したいと思う．

統計的事項

1．發見頻度

本症の病理解剖からみた發見頻度は第1表に示してある如くに，女性屍786例中8.27％，結核女性屍226例中28.76％となつている．いま内外の文獻を調べてみるに，外國に於ては，女性屍中1.3％ (Simmonds)～3.1％ (Puxeddu)，結核女性屍中 4.0％ (Pankow)～15.0％ (Pankow, Weibel, Williams)を示し，わが國に於ては，女性屍中3.5％ (大野)～12.5％ (倉島)，結核女性屍中11.9％(大野)～34.3％(阿保)を示している．即ちわが國に於ける性器結核の頻度は外國のそれよりも著しく大である．私の例に於ける頻度は，外國の頻度よりも明らかに大で，倉島(女性屍中12.5％，結核女性屍中25.6％)及び阿保(女性屍中9.9％，結核女性屍中34.3％)の頻度と大差ない値を示している．

第1表　發見頻度

分　類	例數	1に對する％	2に對する％	3に對する％
1．女性屍	786			
2．結核女性屍	226	28.75±1.61		
3．腹膜結核	115	14.63±1.25	50.88±3.32	
4．内性器結核	65	8.27±0.93	28.76±3.01	56.52±4.62

第2表　發見年齡

年　齡	例　數	％
歲　歲 1～10	3	4.62±2.60
11～20	13	20.00±4.96
21～30	36	55.38±6.16
31～40	6	9.23±3.56
41～50	5	7.69±3.30
51～60	2	3.08±2.14
合　計	65	

2．發見年齡

第2表の如く，(性器結核65例のうち)，21歲～30歲の36例(55.38％)が最も多く，ついで11歲～20歲の13例(20.00％)が多く，10歲以下及び31歲以上は急激に減少している．本症は一般に性成熟

NII-Electronic Library Service

Japan Society of Obstetrics and Gynecology

期に最も多く見られるものであるが，病理解剖から見た21歳～30歳の 55.38%という値が，Keller の20歳～30歳に好發するという説と一致し，また東北大の臨床的統計の 58.5 % とも略ゞ一致している點は興味がある．

3.　發生部位

本症の發生部位は第3表の如くに，65 例の性器結核のうち，卵管が59例(90.77%)で最も多く，ついで子宮が47例(72.31%)，卵巣が 19例(29.23%)となつている．この頻度は Norris をはじめ內外諸家の報告と略ゞ一致している．

第3表　臟器別發生頻度

分　類	例數	%
卵　管	59	90.77±3.66
子　宮	47	72.31±6.78
卵　巣	19	29.23±5.64
合　計	65	

第4表　發生部位

發生部位	例數	%
卵管，子宮，卵巣	13	20.00±4.96
卵管，子宮	30	46.15±6.18
卵管，　卵巣	3	4.62±2.63
子宮，卵巣	1	1.54±1.52
卵管，	13	20.00±4.96
子宮，	3	4.62±2.63
卵巣	2	3.08±2.13
合　計	65	

卵管，子宮及び卵巣のうち，三者または二者が夫々同時に侵されている例は，三者のうちの一者のみが單獨に侵されている例よりも遙かに多い．いまその頻度をみると，第4表の如くに，卵管，子宮が30例(46.15%)で壓倒的に多く，ついで卵管子宮卵巣が 13 例 (20.00 %)，卵管，卵巣は3例(4.62%)，子宮，卵巣はわずかに1例(1.54 %)にすぎない．また單獨に侵されている例は，卵管のみが13 例(20.00 %)で最も多く，子宮のみは3例(4.62 %)，卵巣のみは2例(3.08%)で極めて少ない．女性內性器の結核に對する罹患率はこのように內性器の部位によつて著しく異つている．卽ち卵管が最も多く，ついで子宮が稍ゞ多く，卵巣は最も少い．しかも子宮または卵巣のみが單獨に侵されること，子宮と卵巣，また卵管と卵巣が各同時に侵されることは極めて稀で，卵管のみまたは卵管と子宮が同時に侵されている例が大多數である．

このことは女性內性器結核は卵管に始まり漸次子宮に向つて進行することを示すものであつて，內性器結核は管內下行性に進行するものが多いという組織學的所見とよく一致している．

4.　腹膜結核との關係

腹膜結核は第1表の如くに，女性屍 786 例中 14.63%，結核女性屍226例中115例(50.88%)という頻度を示している．この腹膜結核115例中性器結核を合併しているものは第5表の如く 57例(49.56%)で約半數を示している．性器結核 65例中腹膜結核を合併しているものは第6表の如くに 57 例(87.69%)の多數に及んでいる．

第5表　腹膜結核と性器結核

分　類	例數	%
腹膜結核	115	
性器結核合併	57	49.56±4.66
同非合併	58	50.44±4.75

第6表　性器結核と腹膜結核

分　類	例數	%
性器結核	65	
腹膜結核合併	57	87.69±4.06
同非合併	8	12.31±4.07

性器結核 65例中詳細な病理解剖學的檢査を行い得た 23例について腹膜結核との關係をみるに，全例共に腹膜結核を合併し，しかもこのうち，腹水を證明したもの 12例，腹水を合併しないが癒着を證明したもの 11例で，腹水及び癒着の何れも證明出來なかつたものはわずかに 1 例にすぎなかつた．

以上のことは，腹膜結核は內性器結核の發生機

NII-Electronic Library Service

Japan Society of Obstetrics and Gynecology

轉に對して如何に重大な役割を果しているかを示す有力な證明であると思う.

結　論

女性內性器結核は女性屍の8.27%，結核女性屍の28.76%の頻度に於て發見された.

發見年齢は21歳～30歳が55.38%で過半數を占め，11歳～20歳は20.00%で，10歳以下及び31歳以上は急激に減少している.

發生部位は卵管が壓倒的に多く90.77%を占め，これについで子宮が多く72.31%を示し，卵巣はわずかに29.23%で最も少い. 卵管單獨の場合並に卵管と子宮が同時に侵されている場合が非常に多く，卵管と同巣，子宮と卵巣が各同時に，子宮または卵巣が單獨に侵されている例は非常に稀であつた.

腹膜結核の49.56%に於て性器結核を證明し，また性器結核の87.69%に於て腹膜結核を證明した.

本稿發表に際し橋爪教授の御校閲，千葉大學瀧澤教授の御厚意を謝す.　(No. 91 昭28・1・21受付)

ノーベル賞に輝く Scherines ドイツの女性ホルモン

真性卵胞ホルモン
プロギノン
エストラジオール
【適応症】更年期障害、卵胞ホルモン欠乏症、卵巣機能不全、月経不順等
【包　装】注射 0.2mg　バツカル0.1mg・1mg　内服 0.02mg　植込 10mg・20mg

合成黄体ホルモン
プロルトン
プロゲステロン
【適応症】青春期及更年期の出血、頻発月経及月経過多症、妊娠中の出血、習慣性流産続発性原発性無月経、月経困難症、
【包　装】注射 5mg・10mg　内服 5mg・10mg・25mg　植込 100mg

【価格表贈呈】

輸入發売元　日獨薬品株式会社　ドイツシエーリング新薬部　東京都中央區本町2丁目5番地　大阪市東區淡路町3の6(船場ビル)

日本で初めての
水溶 VC NA VB6 VB2 VB1 VA VD
綜合ビタミン注射薬完成
新発売！
ボンミックス注射液
皮下又は筋肉用
脂溶性ビタミン群と水溶性ビタミン群とを同時に完全に水溶性に而も無痛性とした驚異的な綜合ビタミン注射液が、総ゆる困難を克服して遂に完成しました。鎮痛剤や滋養剤の欠点を補充し速効的で而も強力な効果をもつ綜合ビタミン、ボンミツクス注射液の出現は、予防治療界に光彩を放つ新偉力となりましよう！
☆ 1アンプル中の含有成分
ビタミンA 2500国際単位・ビタミンB1 5mg
ビタミンB2…0.1mg・ビタミンB6…1mg・ビタミンC…30mg・ビタミンD2…500国際単位・ニコチン酸アミド…10mg
無痛性
1CC×10管
四五〇円
製造 富士製薬　販売 中村滝

NII-Electronic Library Service